

2025年6月期 第2四半期決算説明会

株式会社CIJ
証券コード:4826
代表取締役社長 坂元 昭彦

1. 業績結果
2. 財務諸表
3. 通期の見通し
4. 活動報告

【ご注意】

※コメントには、主観的な内容が多く含まれております。

※予想値及びコメントは、一切、正確性・妥当性を保証するものではありません。

※数値は基本的に百万円単位で表記し、百万円未満は切り捨てております。

※率・差異等は概算値を用いており、決算短信・有価証券報告書等での記載値とは異なる場合があります。



1. 業績結果

単位:百万円

	2024年6月期(参考)			2025年6月期		
	通期計画	中間期実績	中間期進捗率	通期計画	中間期実績	中間期進捗率
売上高	25,300	12,693	50.2%	27,000	13,216	48.9%
営業利益	1,880	1,016	54.1%	2,050	981	47.9%
経常利益	1,880	1,037	55.2%	2,060	991	48.1%
純利益※	1,180	665	56.4%	1,280	636	49.7%

売上高	通期計画に対する進捗率は50%を下回っているものの、計画どおり順調に推移した
営業利益	
経常利益	
純利益※	

※親会社株主に帰属する中間純利益または当期純利益

単位:百万円

	2024年6月期 中間期実績	2025年6月期 中間期実績	前年同期との比較	
			増減額	増減比
売上高	12,693	13,216	522	4.1%
営業利益	1,016	981	▲35	▲3.5%
(営業利益率)	(8.0%)	(7.4%)	—	—
経常利益	1,037	991	▲45	▲4.4%
純利益※	665	636	▲29	▲4.4%

売上高

製造、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により、増収となった

営業利益

当初計画のとおり人的投資を強化したことが利益を下押しする一因となった。

経常利益

また当中間期に、一部案件における想定以上のコスト増及びM&A実行に伴う取得手数料などの

純利益※

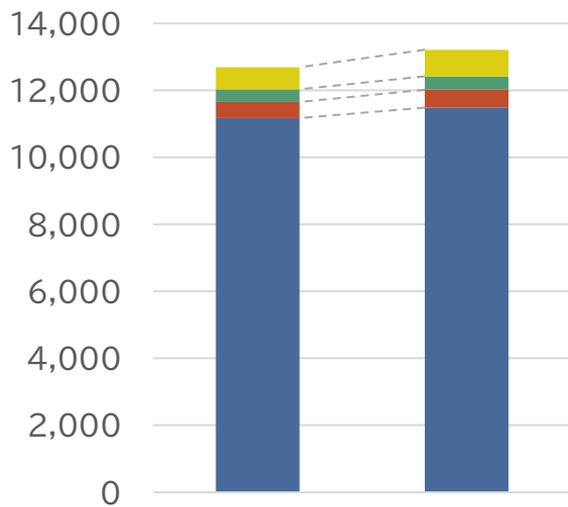
一過性の費用が発生した。この結果、減益となった

※親会社株主に帰属する中間純利益

1.3

事業・品目別売上高(前年同期比)

単位:百万円



2024年6月期中間期実績 2025年6月期中間期実績

- その他
- SI/PI※
- コンサル・調査研究
- システム開発

単位:百万円

事業・品目		2024年6月期中間期実績	2025年6月期中間期実績	増減額	増減比
システム開発等	システム開発	11,174	11,487	312	2.8%
	コンサル・調査研究	481	533	52	11.0%
	SI/PI※	379	401	21	5.6%
	その他	658	794	135	20.6%
合計		12,693	13,216	522	4.1%

システム開発	製造、エネルギー分野の受注が堅調に推移したこと等により増収
コンサル・調査研究	情報・通信分野における研究開発案件等の受注が堅調に推移し増収
SI/PI※	自治体向け福祉総合システムの標準化に伴う支援案件の受注が堅調に推移し増収
その他	公共分野における運用保守案件の受注が堅調に推移し増収

※システム/パッケージ・インテグレーション・サービス

単位:百万円

2024年6月期中間期			2025年6月期中間期			増減額
顧客名(延べ1,198社)		売上高	顧客名(延べ1,148社)		売上高	
①	NTTデータ*	1,240	①	SCSK	1,482	259
②	SCSK	1,222	②	NTTデータ*	1,468	228
③	日立製作所	1,126	③	日立製作所	1,120	▲5
④	TIS	870	④	TIS	1,070	200
⑤	NTTテクノクロス	645	⑤	NTTテクノクロス	631	▲14
⑥	プライムユーザA(官公庁)	362	⑥	日立産業制御ソリューションズ	320	39
⑦	日立産業制御ソリューションズ	281	⑦	中央コンピュータシステム	261	8
⑧	日本電気	265	⑧	BIPROGY	215	▲18
⑨	中央コンピュータシステム	252	⑨	日本電気	209	▲56
⑩	BIPROGY	233	⑩	日立ソリューションズ	202	▲9

※NTTデータグループ社を含む

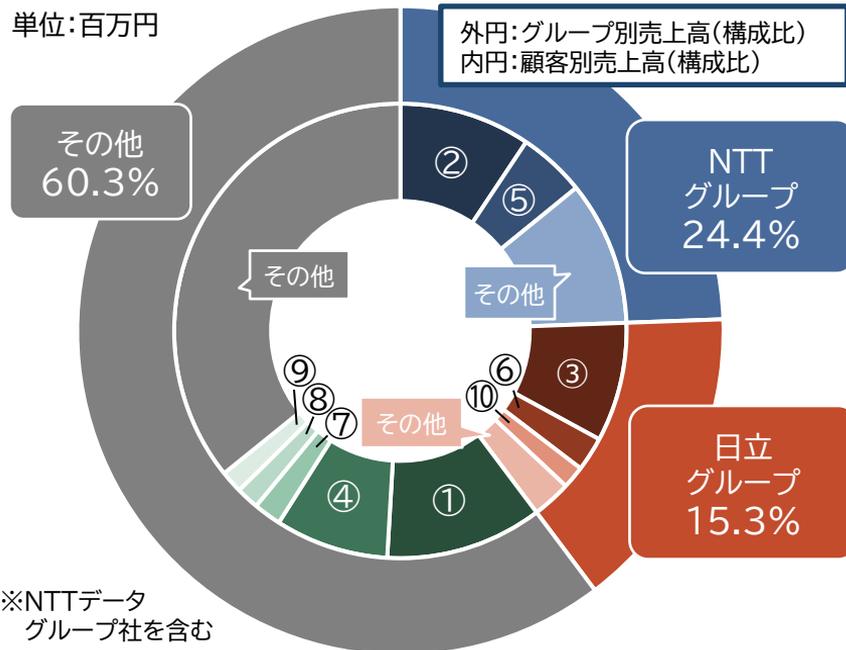
上位10社までの売上高合計が前期比483百万円増の6,984百万円
 構成比 前期51.2% → 52.8%(+1.6pt)

1.5

顧客別売上高(構成比)

2025年6月期中間期			構成比
顧客名(延べ1,148社)	売上高		
①	SCSK	1,482	11.2%
②	NTTデータ※	1,468	11.1%
③	日立製作所	1,120	8.5%
④	TIS	1,070	8.1%
⑤	NTTテクノクロス	631	4.8%
⑥	日立産業制御ソリューションズ	320	2.4%
⑦	中央コンピュータシステム	261	2.0%
⑧	BIPROGY	215	1.6%
⑨	日本電気	209	1.6%
⑩	日立ソリューションズ	202	1.5%
上位10位までの売上高合計		6,984	52.8%
11位以下の売上高合計		6,231	47.2%

単位:百万円



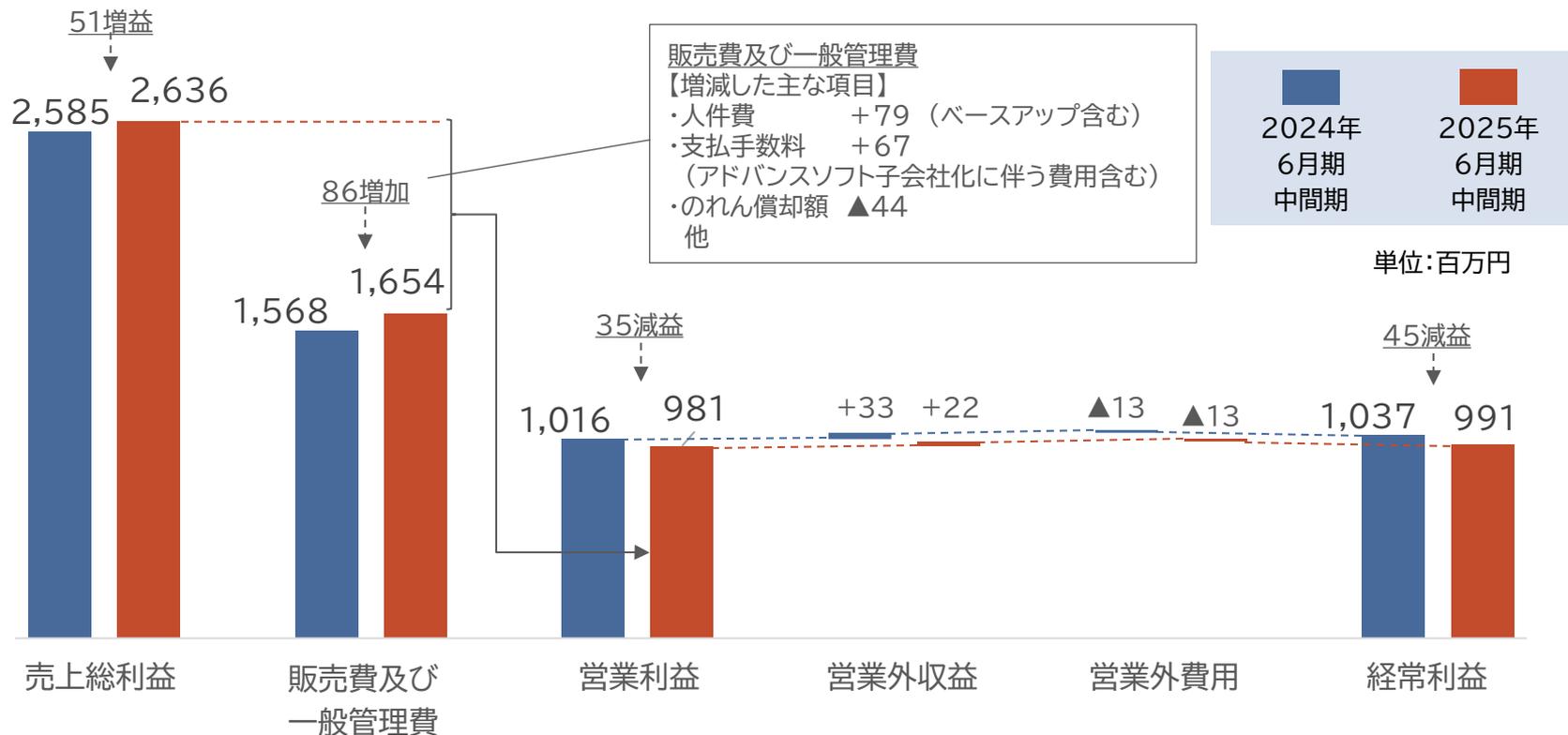
※NTTデータグループ社を含む

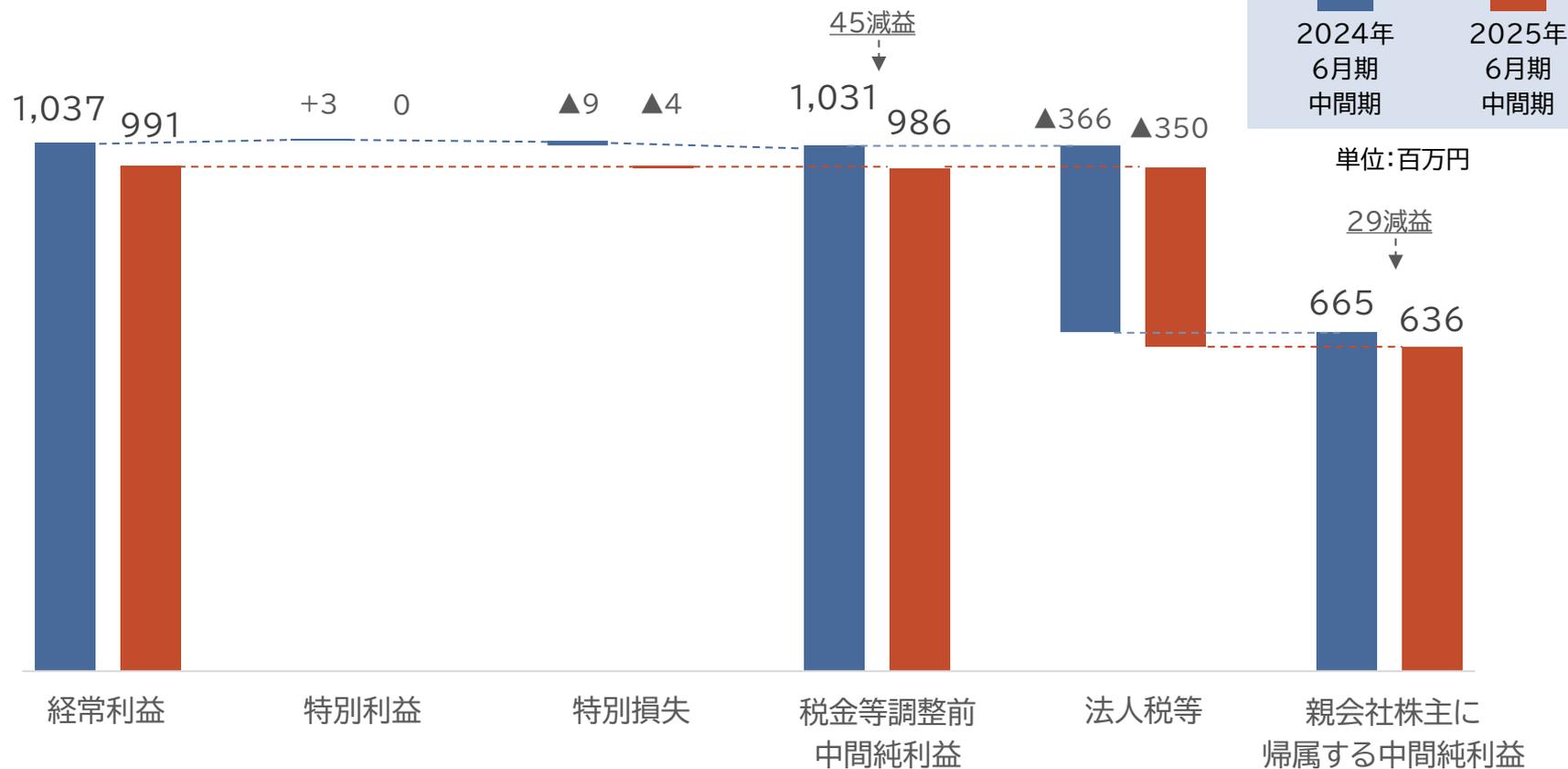
単位:百万円

グループ	2024年6月期中間期		2025年6月期中間期		増減額
	売上高	構成比	売上高	構成比	
NTTグループ	2,925	23.1%	3,228	24.4%	303
日立グループ	1,946	15.3%	2,020	15.3%	74
その他	7,821	61.6%	7,966	60.3%	145
		38.4%		39.7%	

主要取引先グループ (NTTグループ及び日立グループ)の構成比は前年同期比で1.3pt増

増収により売上総利益が増益。販売費及び一般管理費増加により営業利益、経常利益が減益。







2. 財務諸表

単位:百万円

科目	2024年 6月期末	2025年 6月期 中間期末
(資産の部)		
流動資産	14,265	13,281
有形固定資産	343	348
無形固定資産	805	1,280
投資その他の資産	3,082	3,440
固定資産	4,232	5,069
資産合計	18,497	18,350

※財務諸表に関する詳細な数値は、
「2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信」を
ご参照ください。

科目	2024年 6月期末	2025年 6月期 中間期末
(負債の部)		
流動負債	3,920	3,745
固定負債	67	94
負債合計	3,988	3,840
(純資産の部)		
株主資本	14,285	14,245
その他の包括利益 累計額	223	264
純資産合計	14,509	14,510
負債純資産合計	18,497	18,350
自己資本比率	78.4%	79.1%

単位:百万円

科目		増減額	主な増減要因
資産	流動資産	▲983	・現金及び預金 ▲1,312 ・契約資産 +254
	固定資産	837	・のれん +514 ・投資有価証券 +304
	資産合計	▲146	
負債	流動負債	▲174	・未払金 ▲176
	固定負債	+27	・長期借入金 +23 ・繰延税金負債 +2
	負債合計	▲147	
純資産	株主資本等	+1	・資本剰余金 +116 ・その他有価証券評価差額金 +41 ・自己株式 ▲157

単位:百万円

科目	2024年6月期 中間期実績	2025年6月期 中間期実績	増減額
売上高	12,693	13,216	522
売上原価	10,108	10,579	471
売上総利益	2,585	2,636	51
販売費及び一般管理費	1,568	1,654	86
営業利益	1,016	981	▲35
経常利益	1,037	991	▲45
特別利益	3	0	▲3
特別損失	9	4	▲4
親会社株主に帰属する中間純利益	665	636	▲29



3. 通期の見通し

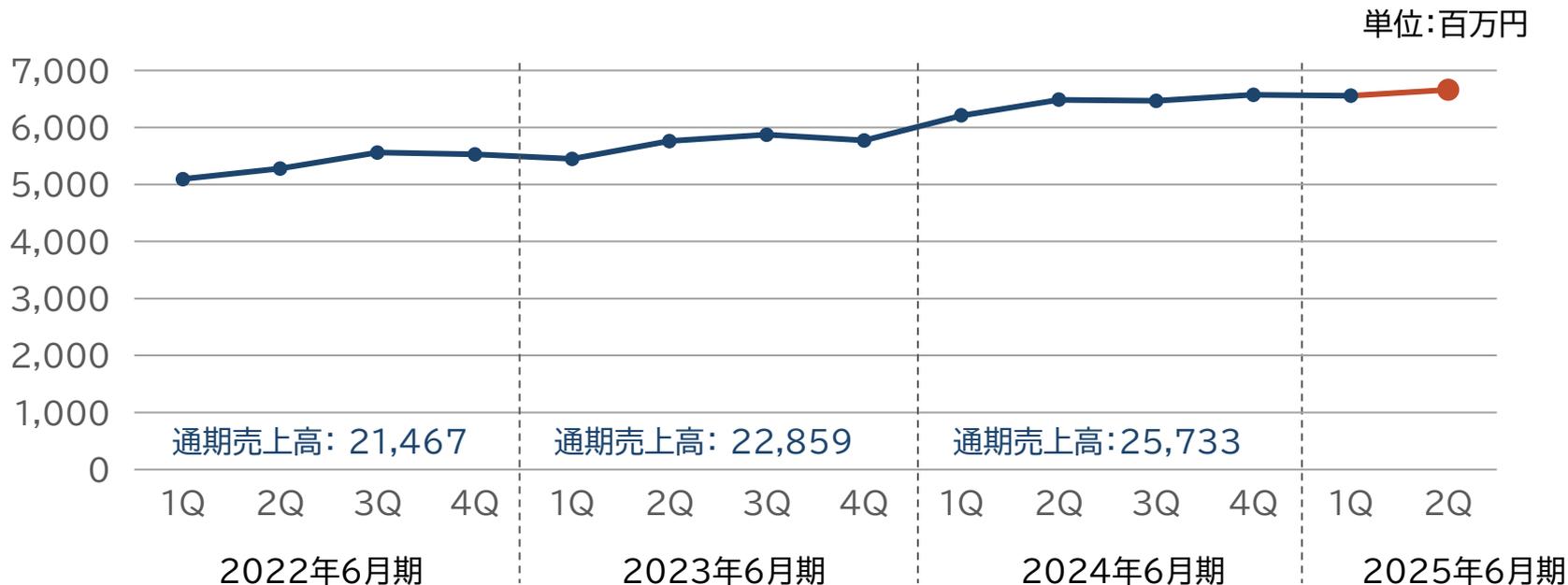
(1) 景気動向

- ▶ 国内での雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復の動きが続いた
- ▶ 物価上昇、金融資本市場の変動、地政学的リスク等の影響に十分注意が必要

(2) 当社グループの事業環境

- ▶ デジタル化の急速な進展を背景に、生成AIをはじめとするICTに関わる様々なテクノロジーの活用が求められている
- ▶ 企業の競争力強化等を目的としたIT投資は堅調に推移

売上高は堅調に推移し、2025年6月期2Qは過去最も高い水準となった



2024年8月7日に公表した連結業績予想(通期)に変更なし

※連結子会社化した株式会社アドバンスソフトの売上高が連結業績に寄与する見込み

単位:百万円

	前期通期実績 (参考)	直近の業績予想 (24/08/07公表)	中間期実績	中間期進捗率
売上高	25,733	27,000	13,216	48.9%
営業利益	1,964	2,050	981	47.9%
経常利益	1,993	2,060	991	48.1%
純利益※	948	1,280	636	49.7%
(営業利益率)	(7.6%)	(7.6%)	(7.4%)	—
(経常利益率)	(7.7%)	(7.6%)	(7.5%)	—

※親会社株主に帰属する中間純利益または当期純利益

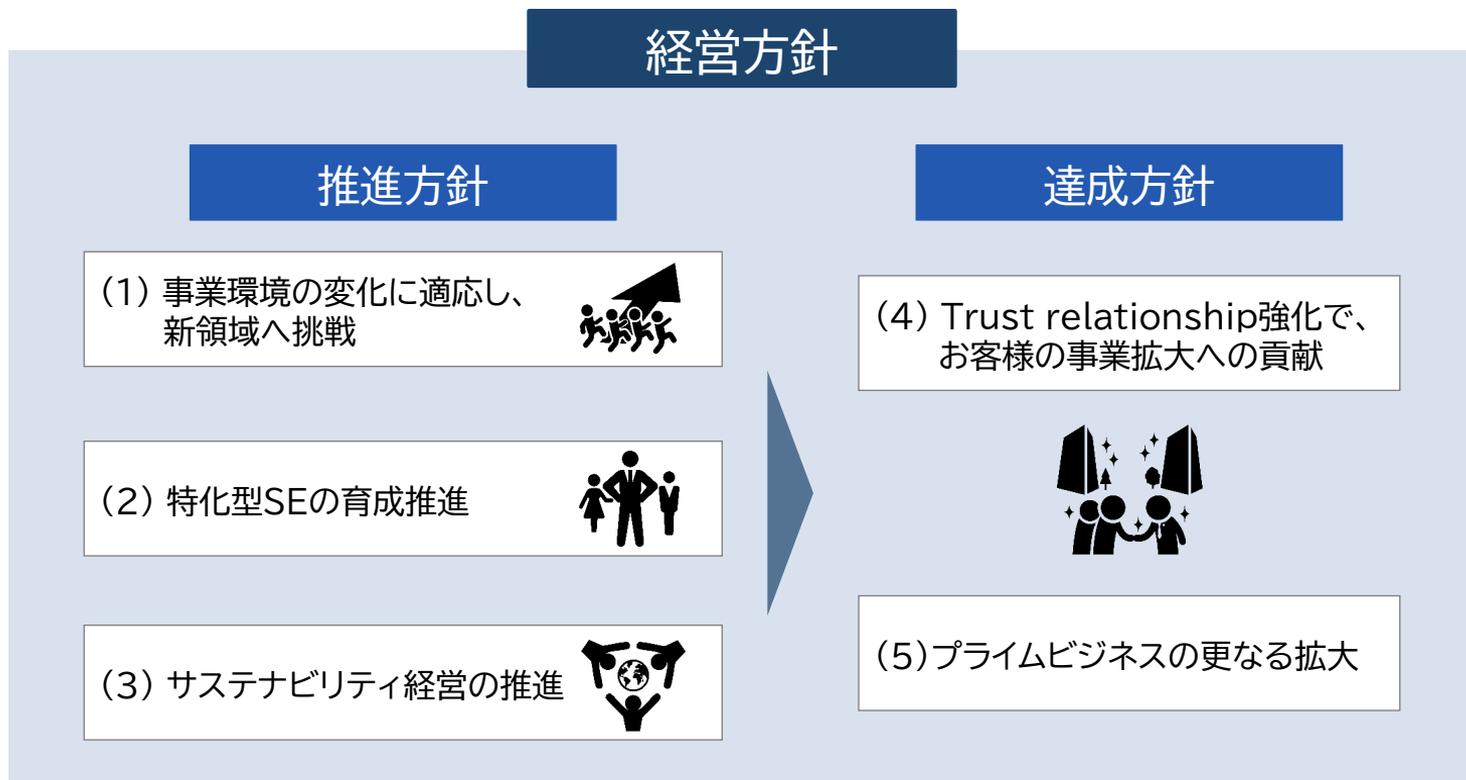
- ・株主還元方針に基づき、中長期的な株式価値向上と株主還元の機会充実を図るため、2025年6月期において中間・期末の年2回配当とする
- ・2024年11月25日に公表した2025年6月期の配当予想「14円」に変更なし

	2024年6月期	2025年6月期	
	実績(期末)	決定額(中間)	直近の配当予想 (24/11/25公表)
中間配当	-	7.00円	7.00円
期末配当	11.00円	-	7.00円
年間	11.00円	-	14.00円
配当金総額	634百万円	402百万円	-
EPS	16.35円	-	-
DOE	4.4%	-	-
総配分性向	98.6%	-	-



4. 活動報告

推進方針に沿って各種施策を行い、達成方針の実現を目指す



経営方針(推進方針)に沿って様々な施策を行った

推進方針

(1) 事業環境の変化に適応し、
新領域へ挑戦



(2) 特化型SEの育成推進



(3) サステナビリティ経営の推進



当中間期の主な施策

株式会社アドバンスソフトの連結子会社化(M&A) ①

生成AIサービスの社内運用を開始(研究開発) ②

Salesforceコンサルティングパートナーに認定 ③

DX推進のためデジタルエンジニア育成を実施

研究開発を通じた生成AI等の最新技術習得

CDP、EcoVadis※を通じた情報開示と気候変動取組

統合報告書(CIJ REPORT 2024)の公開 ④

※ CDP : 投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するための情報開示システムを運営する組織
EcoVadis : 包括的な企業の社会的責任(CSR)評価サービスを提供する組織

4.2 ①株式会社アドバンスソフトの連結子会社化

株式会社アドバンスソフトの株式を取得し、2024年10月31日に同社を連結子会社とした

会社概要

- 名称 : 株式会社アドバンスソフト  ADVANCE SOFT
- 所在地 : 愛知県名古屋市中区
- 事業内容 : ソフトウェア受託開発、保守・運用
- 設立 : 2001年9月20日

特徴

- 電力会社向けのシステム開発における豊富な取引実績を有する
- 社会インフラに関連するサービスを提供し続け、業務ノウハウとお客様との強固な信頼関係が強み

CIJグループ内において、各社間の技術領域や産業分野の相互補完を行うことで、技術者のスキルアップや顧客層の拡大に取り組み、更なる成長・発展を目指し、お客様への提供価値をより高めてまいります。

②生成AIサービスの社内運用を開始

生成AIを用いた応用研究により新規の生成AIサービスを開発し、社内運用を開始した

AI総務

- 概要：当社の会社規程を知識ベースとしたチャットボット
- 機能：膨大にある会社規程の検索性を高め、関連する問い合わせを総務担当者に代わり回答する
- 効果：総務担当者の負荷を軽減し、社員はタイムリーに利用できるため全社の生産性向上に期待

AIエンジニア

- 概要：ソースコードを自動生成するシステム
- 機能：要望事項や画面(UI)、設計書のイメージ等を指定し、それらに応じたアプリを作成する
- 効果：プロトタイプの開発等に適しており、開発効率の向上に期待

引き続き生成AIの応用研究に取組み、得意のものづくりや高い技術を持った人材の育成など、自社の技術力強化を推進してまいります。同時に、自社ソリューション開発で得た知見をSIビジネスの拡大につなげてまいります。

③Salesforceコンサルティングパートナーに認定

Salesforce製品に関して、専門の知識を有する要員の育成を実施し、同製品のコンサルティングパートナーに認定された

Salesforceとは

- クラウドベースの営業支援(SFA)、顧客管理(CRM)の機能を備えたプラットフォーム
- 新規顧客の開拓や商談を効率良く進められる
- 世界で15万社以上の導入実績があり、日本国内でも多くの企業が導入している

当社が提供するコンサルティングサービスの特徴

- これまでのシステム開発経験を活かし、業種を問わず、お客様の業務に最適なサービスとなるようSalesforceをカスタマイズし、導入をサポート
- 既存システムとの連携及び新システムへの移行をサポート

今後は、既存顧客へのアプローチにより製品ニーズを把握し、Salesforce社との連携も強化することで、導入案件獲得へとつなげてまいります。

④統合報告書「CIJ REPORT 2024」公開

ステークホルダーの皆様へ、持続的な成長へ向けた取り組みを、財務と非財務の両面から分かりやすくお伝えするために、統合報告書「CIJ REPORT 2024」を公開した

主な内容

- トップメッセージ／CIJ グループの価値創造／
価値創造のための戦略／価値創造を支える基盤 等

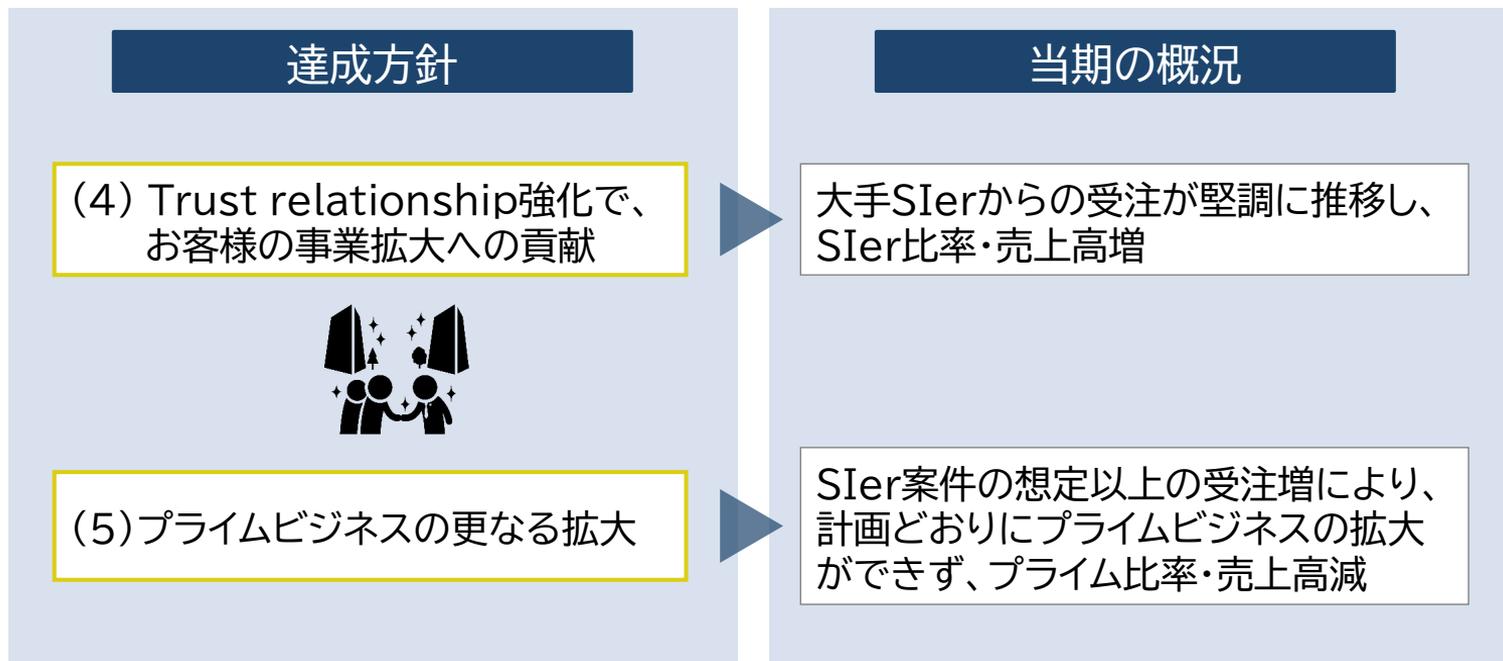
掲載先URL

- <https://www.cij.co.jp/ir/report/>



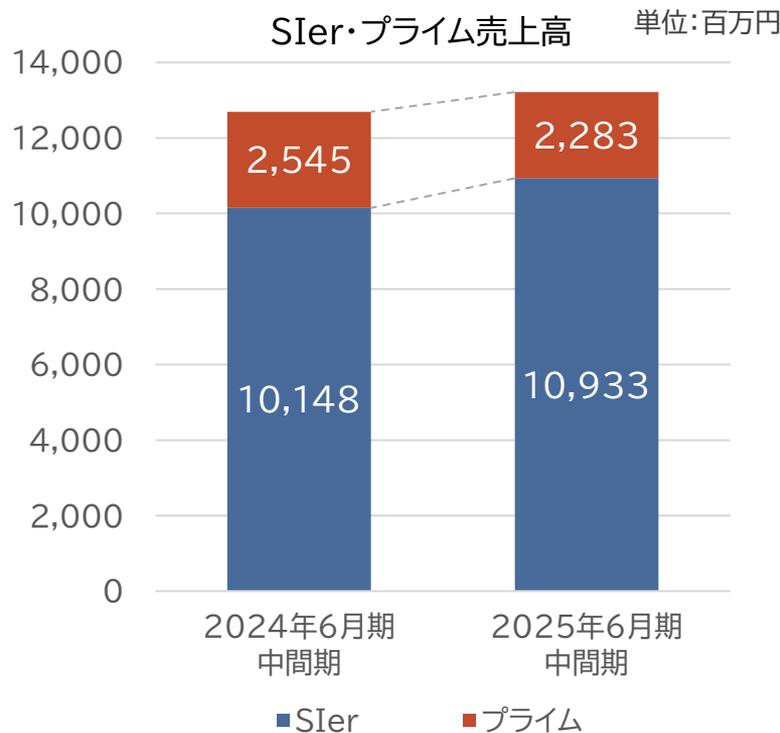
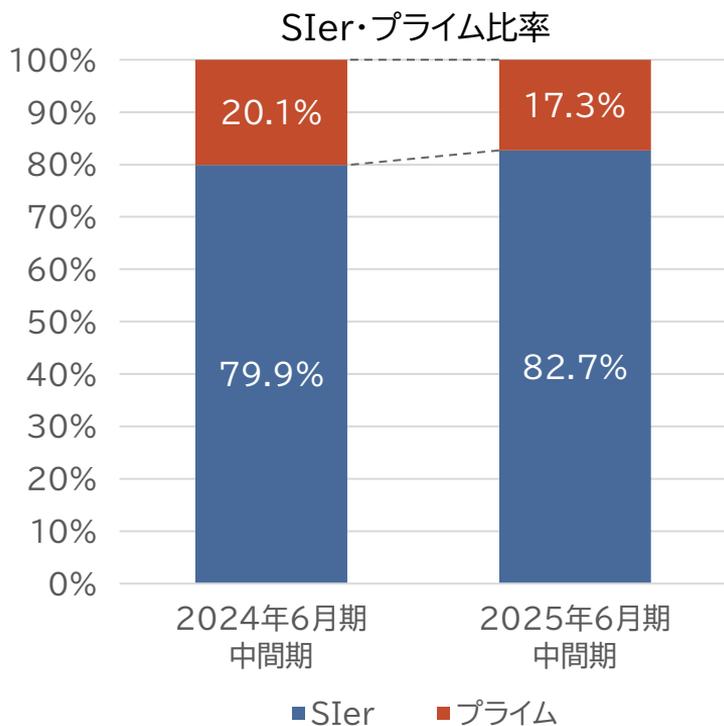
今後も情報開示の拡充を通じてステークホルダーの皆様との対話促進を図り、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

経営方針(達成方針)の概況は以下のとおり



4.3

SIer・プライム比率、売上高(前年同期比)



引き続き、SIer案件の拡大を進めつつ、プライム比率向上を推進してまいります。

※本資料に記載されている各種サービス名、商品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。
※本資料に記載されている会社名等は敬称を省略しております。

2025年6月期 第2四半期決算説明会

【ご注意】

本資料の記載内容は投資勧誘を目的としたものではなく、一般的なIR情報の提供を目的としており、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について当社は責任を負うものではありません。本資料においては、決算短信にて開示しております業績予想数字とそれに関連するデータ等を記載しておりますが、完全な正確性及び妥当性等を保証するものではありません。当該情報に基づいて被るいかなる損害につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。

IRに関するご質問・お問い合わせ先:株式会社CIJ 経営戦略本部 経営企画部
TEL:045-222-0555